

春学期のレポート

提出日：2006年5月30日

氏名：池上 真

【初めに～この春学期を振り返って～】

この春学期は、IIP(International Internship Program)の学生として、学部課程のクラスを受講した。IIPは、一般の学部生、院生と異なり、必修科目・選択科目などの履修手続に関する細かい規則に従って履修する必要がなく、また、学部を問わず全てのクラスの中から本人の最も興味のあるクラスを選択できる、極めて都合の良い、有益なプログラムである。ロースクール入学に必要な英語力を身に付けるため、あえて英語のクラスのみならず、生物、ビジネスといった学部のクラスをも受講した。当初は、これらのクラス以外に、他にも二つのクラスを登録したが、昨年の秋学期にELI(English Language Institute)で学んだ内容とあまり変わらない、教授の手話がほとんど読み取れない、などの理由により、キャンセルした。その経験から、IIPというプログラムは、選べるクラスが広大にわたるが、まず、どんなクラスが用意されていて、次に、それぞれのクラスの教授は誰か、そして、それらのクラスはどのように進められるのか、などの情報を集め、慎重に選択する心構えが必要であるということ学んだ。この教訓は、今後のクラス履修登録手続の際に活かしたい。

【クラス】

それぞれのクラスにおいて、どんなことを学んだかについては、毎月の「生活記録」に細かく記しているのので、そちらの方を参照していただきたい。

① 英語(Essay Anal & Comp I (English 103))

このクラスは、全ての学部生が履修しなければならないクラスの一つで、英語のエッセイの書き方に関する基本的なルールを学んだ。エッセイの提出は週に一回で、時折、のんびりとしたスケジュールに物足りない気もしたが、教授に自分のエッセイを見ていただくこと自体に意義があると思い、クラスに出席した。エッセイは、提出したクラスの次のクラスには返され、その上、丁寧に添削されていた。このクラスの特長として、「文法間違いシート」があり、それは、自分の間違えた文法が一目で分かるように書

かれたものである。エッセイを書いていくうちに、このシートによって自分の弱点を押さえることが出来、学期中を通じて、極めて有効なツールであった。

② 生物(Introduction to Biology II (Lecture))

このクラスは、生物専攻のみならず、教育学や心理学専攻の必修科目の一つである。多くの学生が敬遠したが、自分の専攻分野とはまったくかけ離れたクラスを履修することにより、幅広い分野における英文に慣れ親しもうと思い、このクラスを選択した。

今学期に受講したクラスの中で最も予復習に時間を割いたのがこのクラスである。このクラスは、パワーポイントを使って進められ、講義中は、辞書を片手に、繰り返し出てくる単語の意味を調べながら、講義の理解に努めた。また、このクラスは、教授自身が、手話で講義することが出来ないため、手話通訳が付いていたが、指文字はほとんど読み取ることが出来ず、クラスに出席するたびにASLマスターへの長い道のりを痛感した。

③ ビジネス法(Business Law I)

このクラスは、ビジネス専攻の必修科目の一つであり、3、4年生を中心に構成されている。教授は、ロースクールを出ており、数十年間ギャロデットにおいて教壇に立ち、この春学期限りで定年退職された、極めてベテラン教授である。

一番初めのクラスのとときに配布されたスケジュールにしたがって進められた。それぞれのクラスにテーマがあり、クラスにおいては、まず、学生同士によるディスカッションが行われ、続いて、教授による講義が行われた。教授は、どんな些細な質問に対しても懇切に答える、温厚な人柄の持ち主であり、最もお気に入りのクラスであった。

一方、学生から質問を受けながら、講義が進められるということが多かったため、講義の内容が次から次へと変わっていき、手話をじっと見つめながら、内容を推測するだけで精一杯だった。しばしば、アメリカの会社の名前や人の名前が出てきたりして、法律を学ぶには、アメリカの社会の一般的知識に精通している必要があることを実感した。

【ELISO】

ELISOとは、English Language Institute Students Organizationの略称であり、ELIの学生の団体である。この春学期から、ELIからIIPに変わったが、ELISOのスタッフは、ELIの学生のみならず、前にELIの学生だった人にも同様に資格が与えられる

ため、途中で退会せず、一年間の任期を全うした。

前学期にあたる秋学期は、数々のイベントを経験しながら、ELISOの活動方針や組織の理解に努めたが、この春学期は、自らも一人のスタッフとしてスタッフ会議において、物事の取り決め方に対して疑問を投げ掛けたり、組織運営のあり方に関して提唱したりした。

たびたび会議の時間が延びたり、イベント設営のため夜遅くまで残ったりしたこともあったが、自分とはまったく異なる価値観の持ち主とコミュニケーションをとっていくうちに、自分自身のコミュニケーションの方法や態度を見直すことが出来たのではないかと思っている。

【終わりに～夏休みの予定～】

5月5日にすべての試験が終了した。6日には、寮を出てギャロデット近くのアパートに引っ越した。この夏休みは、ギャロデットの「キャンパスライフ」というところでアルバイトをしながら、サマースクールに通い、ロースクールの試験LSAT(Law School Admission Test)の対策に取り組む予定である。